

介護処遇改善加算の見える化について

介護職員等処遇改善加算の算定に伴い、【職場環境等】の要件があります。
当法人で取り組む項目を下記の通り公表いたします。

【職場環境等要件に関する具体的な取り組み内容】

加算区分：介護職員等処遇改善加算Ⅰ

区分	職場環境等要件	当法人の取り組み
入職促進にむけた取組	①法人や事業所の経営理念やケア方針・人材育成方針、その実現のための施策・仕組みなどの明確化	毎年度事業活動計画書にての理念や年度の方針を発信 それに基づいた施策を検討している
	③他産業からの転職者、主婦層、中高年齢者、経験者・有資格者にこだわらない幅広い採用の仕組みの構築	新規採用育成計画を策定し未経験者でも安心して働ける体制の整備 短時間勤務制度の活用や勤務形態の柔軟な対応（夜勤不可等）
	④職場体験の受入や地域行事への参加や主催等による職業魅力度向上の取組の実施	大学、専門学校等から実習生やボランティアの受入れ、地域相互交流体験研修の受入れや参加
資質の向上やキャリアアップに向けた支援	⑤働きながら介護福祉士取得を目指す者に対する実務者研修受講支援や、より専門性の高い介護技術を取得しようとするものに対するユニットリーダー研修、ファーストステップ研修、喀痰吸引、認知症ケア、サービス提供責任者研修、中堅職員に対するマネジメント研修の受講支援等	実務者研修受講のために必要なシフトの配慮を行っている また、ユニットリーダー研修や喀痰吸引研修等は受講費の全額負担を行い、業務として参加を行っている
	⑥研修の受講やキャリア段位制度と人事考課との連動	キャリアパス基準を作成 昇任基準や能力開発のための研修を明確にしている
	⑧上位者・担当者等によるキャリア面談など、キャリアアップ・働き方等に関する定期的な相談の機会の確保	年1回、上位者との面談を実施 職員から希望があれば随時面談の場を設けている
両		

立 支 援 ・ 多 様 な 働 き 方 の 推 進	⑨子育てや家族等の介護等と仕事の両立を目指す者のための休業制度等の充実、事業所内託児施設の整備	育児、介護休業に関する窓口を設置 子育て・介護等の家庭の事情や職員の体調等に配慮し、日勤帯のみでの勤務や時短制度の活用を行っている
	⑩職員の事情等の状況に応じた勤務シフトや短時間正規職員制度の導入、職員の希望に即した非正規職員から正規職員への転換の制度等の整備	併せて非正規職員から正職員への転換を奨励している。男性の育児休暇の実績もあり
	⑫有給休暇の取得促進のため、情報共有や複数担当制等により、業務の属人化の解消、業務配分の偏りの解消を行っている	他ユニットや事務所からの応援体制を確立有休をとりやすい環境を整えている
腰 痛 を 含 む 心 身 の 健 康 管 理	⑬業務や福利厚生制度、メンタルヘルス等の職員相談窓口の設置等相談体制の充実	規程整備によるハラスメント対応窓口の設置職員通用口掲示板に掲示
	⑭短時間勤務労働者等も受診可能な健康診断・ストレスチェックや、従業員のための休憩室の設置等健康管理対策の実施	全職員の健康診断の実施 会社負担で節目年齢の人間ドック、子宮頸がん、乳がん検査の実施 職員休憩室の設置と場所の掲示 屋内禁煙、屋外に喫煙室の設置
	⑮介護職員の身体の負担軽減のための介護技術の修得支援、職員に対する腰痛対策の研修、管理者に対する雇用管理改善の研修等の実施	全職員に対して、介護技術と腰痛予防研修の実施 管理者は外部の雇用管理改善の研修に参加している
	⑯事故・トラブルへの対応マニュアル等の作成等の体制の整備	事故発生防止マニュアルを整備 事故防止委員会にて事故報告書、ヒヤリハットの報告書を共有し再発防止に取り組んでいる
生 産 性 向 上 改 善 （ 業 務 の 改 善 の 取 組 み	⑰厚生労働省が示している「生産性向上ガイドライン」に基づき、業務改善活動の体制構築（委員会やプロジェクトチームの立ち上げ又は外部の研修会の活用等）を行っている	生産性向上委員会を立ち上げ、委員会にて課題の分析、改善方法の検討実施
	⑱現場の課題の見える化（課題の抽出、課題の構造化、業務時間調査の実施等）を実施している	
組 み	⑲5S活動（業務管理の手法の1つ。整理・整頓・清掃・清潔・躰の頭文字をとったもの）等の実践による職場環境の整備を行っている	各部署、ユニット毎に年間美化計画を作成。 チェックリストを活用し一年を通し環境整備を行っている 衛生委員会にて5S活動の推進を行う

働く環境	②①介護ソフト（記録、情報共有、請求業務転記が不要なもの。）、情報端末（タブレット端末、スマートフォン端末等）の導入	令和５年度に介護ソフト「ほのぼのNX」を導入 PC、タブレットを活用し介護現場での記録から請求まで一気通貫を実現
働きがいの醸成	②⑤ミーティング等による職場内コミュニケーションの円滑化による個々の介護職員の気づきを踏まえた勤務環境やケア内容の改善	各ユニットで職員が入れ替わる時間帯に申し送りを行い情報共有を行う また毎月ユニット会議、職員会議、リーダー会議を実施し業務内容の改善を図る
	②⑧ケアの好事例や、利用者やその家族からの謝意等の情報を共有する機会の提供	職員閲覧書類の棚にハートフルノートの設置 利用者様や家族様からお褒めのことばを頂いたときはノートに記入し、全職員で共有している